

か

つちの うつわの ような わたしの なかに
たからを もっています



IIコリント4:7~15

私たちは、この宝を、土の器の中に入れていたのです。それは、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかにされるためです。(7)

1. 神様は苦難の中にいる者を慰めてくださいます(IIコリント1:5,11)



2. よわい土の器のようですが、宝を持っています(IIコリント4:7)

さいこう たから はい 最高の宝が入っている器です。

宝はなんでしょう。(IIコリント4:10~12)

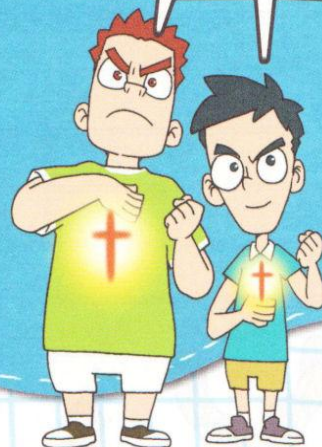


あ、また、学校に必要なものをかうお金で、おかしを買って食べちゃった

福音が中にあるのに、なぜぼくはこんなにたりなくて弱いんだ？



いや！ぼくは弱いけれど、がっかりしない！ぼくの中の聖霊様が最後まで助けてくださる！



3. この世に勝つことができる内なる人が強くなければなりません。

- (1) 日々新たにされています (IIコリント4:16)
- (2) 永遠の栄光をもたらします (IIコリント4:17)
- (3) 見えないものはいつまでも続きます (IIコリント4:18)

【考えてみよう】

■ 神様がくださった宝とはなにか？

ことがしるべき
コリントへのためだけに

2か

わたしたちは かみさまの とくべつな めぐみを
うけた ものです



Ⅱコリント 6:1~2

かみい
神は言われます。「わたしは、めぐみの時にあなたに答え、救いの日にあなたを助けた。」確かに、今は恵みの時、今は救いの日です。(2)

1. 私たちにくださった職分があります

- (1) キリストの愛です (Ⅱコリント5:13~15)
- (2) 和解する職分です (Ⅱコリント5:18~21)



1. 私たちは恵みの時に生きる者です

- (1) かみさまはたらきもの
神様とともに働く者です (Ⅱコリント6:1)
- (2) めぐすくいもの
恵み、救いの日に生きる者です (Ⅱコリント6:2)
- (3) なにもも
何も持たないようでも、すべてのものを持っている者です (Ⅱコリント6:9~10)

ずい
貧しいようでも、多くの人を富ませ、何も持たないようでも、すべてのものを持っています



3. 私たちは神様の宮です

- (1) みしんじやみや
未信者はサタンの宮です (Ⅱコリント6:15~16)
- (2) わたし かみさま みや
私たちは神様の宮です (Ⅱコリント6:16)

【考えてみよう】

■ イエス・キリストによって救われたことが
なぜ恵みだと言うのかな？

ことがしるべき
コリントへのためだけに

3

か

かみさまの
かなしみが

みこころを
あります



Ⅱコリント 7:10~16
神のみこころに添った悲しみは、悔いのない、救いに至る悔い
改めを生じさせますが、世の悲しみは死をもたらします。(10)

1. 聖書は思い煩ってほならないことをもっとも多く強調しています
- (1) 何も思い煩わないうで、すべてのことを感謝をもって祈るべきです (ピリピ4:6~7)
 - (2) サタンは私たちが思い煩うときにだまします (Ⅰペテロ5:7~8)
 - (3) 愛には恐れはなく、恐れには刑罰が伴います (Ⅰヨハネ4:18~19)



2. 神様のみこころをなしとげる悲しみは たくさんするほどよいのです

- (1) 救いに至ります (Ⅱコリント7:10)
- (2) 神様の慰めを受けます (Ⅱコリント7:13)

あの友だちは、ぜったいに
福音を聞かないといけないの
だけけど・・・



3. 祝福されたレムナントのテストのような 答えを受けましょう

- (1) 熱心さがある Remnant です (Ⅱコリント8:10)
- (2) 自分から進んで行く人です (Ⅱコリント8:17)
- (3) すべての教会から称賛される人です (Ⅱコリント8:18)
- (4) 同労者です (Ⅱコリント8:19)
- (5) キリストの栄光です (Ⅱコリント8:23)

【考えてみよう】

- 私はいつ、サタンがよろこぶ思い煩いをするのかな？
- 私はいつ、神様のみこころをなしとげる
悲しみをするのかな？

4

か いのりの あじを しれば どんなことでも できるように なります



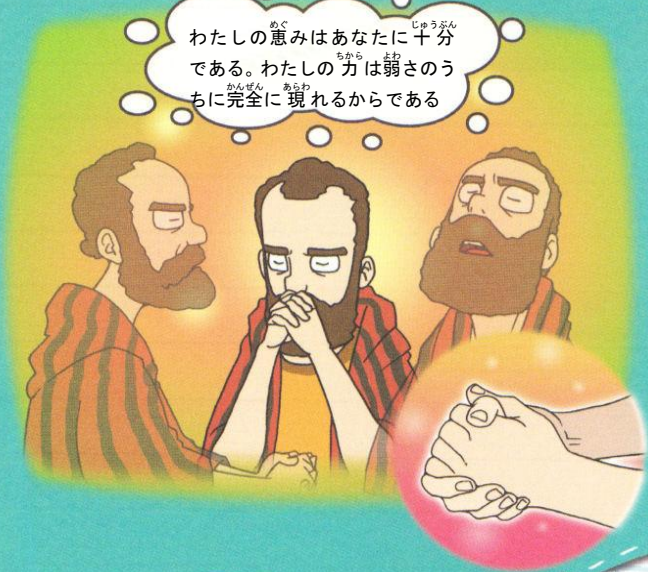
Ⅱコリント 12:1~10
しかし、主は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現われるからである」と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう。ですから、私は、キリストのために、弱さ、侮辱、苦痛、迫害、困難に甘んじています。なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからです。(9-10)

1. レムナントはひとりで生きる奥義を持っています。
レムナント7人は、ひとりでいるとき、神様とともにいる深い祈りの奥義を味わいました。



2. パウロは深い祈りの人でした

- (1) 第三の天にまで引き上げられました (Ⅱコリント12:2)
- (2) 大きな恵みを受けた人です (Ⅱコリント12:9)
- (3) パラダイスの味を知りました (Ⅱコリント12:4)
- (4) 弱いときに強いものです (Ⅱコリント12:10)



【考えてみよう】

- パウロが体験した深い祈りはなんですか？
- 私が体験した深い祈りを友だち、先生と分かち合いましょう。